

(様式1)

令和4年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 022	提案機関名 一般社団法人神奈川県畜産会
要望問題名 県内牛群の高能力化を目指した OPU 技術の実用化	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】 優良な遺伝子を持った牛群（乳牛・肉牛）を効率的に増産するため、遺伝情報を元に優良未経産牛からの採卵技術の実用化に取り組んでいただきたい。	
解決希望年限	①1年以内      ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内      ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター <input checked="" type="checkbox"/> ②畜産技術センター      ③水産技術センター      ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	畜産技術センター	担当部所	企画指導部企画研究課
対応区分	①実施 <input checked="" type="checkbox"/> ②実施中      ③継続検討      ④実施済      ⑤調査指導対応      ⑥現地対応      ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合) 未経産牛における OPU を用いた後継牛確保対策 (R2～6)			
対応の内容等 国内においても遺伝的能力評価（ゲノミック評価）が開始されたことから、これまでより信頼性の高い遺伝情報が利用可能になっています。評価結果に基づいて未経産牛を対象に OPU を実施することで、従来よりも牛群改良がスピードアップすることが期待されます。 未経産牛の OPU については、月齢や発育に応じたプローブ挿入の可否、OPU 実施後の繁殖に対する影響、適切な前処理の選択、生産される移植可能胚数など、実用化に向けた技術的課題がありますので、令和2年度から所内のホルスタイン種未経産牛を対象に試験を実施しています。			
解決予定年限	①1年以内      ②2～3年以内 <input checked="" type="checkbox"/> ③4～5年以内      ④5～10年以内		
備考			